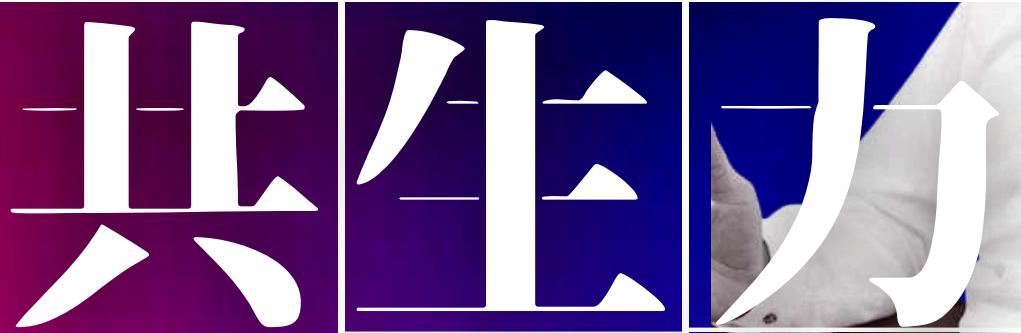


宮崎県認知症ケア・ スキルアップセミナー

2025年度第4回

認知症を「支える」から「共に生きる」へ
～福岡県大牟田市における実践を通して～



2026

日時 3/14 土 13:30
～16:30
(13:00開場)

費用 会員 ¥1,000 非会員 ¥2,000

会場

〒880-0001
宮崎市橘通西1丁目1番2号
宮崎市民プラザ
4階ギャラリー

講師 猿渡 進平



1980年福岡県大牟田市生まれ。

同居の祖母が認知症になったことが理由で福祉の道に進む。

平成24年 医療法人静光園 白川病院に入社。

その後大牟田市地域包括支援センター、厚生労働省社会・援護局の出向などを経て現職。

上記のほかに、一般社団法人とまちづくり研究所理事、理化学研究所、慶應義塾大学、大阪大学等の研究員として活動している。



＼お問い合わせはこちら／

0986-36-5870

お申し込みは
フォームまたは
裏面FAXから



F A X

0986-36-5890

注) FAXの表裏間違いや送信間違いに注意をお願いします。

2026年3月12日（木）までに直接FAXして下さい。

参加者記入用紙

ふりがな	県会員・非会員	参加費支払い	勤務先名	携帯電話番号	日本認知症ケア学会 No (7ヶタ)
	県会員￥1000 非会員￥2000	Peatix払い 現地払い			
	県会員￥1000 非会員￥2000	Peatix払い 現地払い			

※県会員とは「宮崎県認知症ケア専門士会」のことです

※非会員とは専門士会に「未入会または2025年度会費未納者」と「一般・学生」のことです

質疑応答 記入用紙

質問：講師の方へご質問・ご相談などございましたら記入ください。

プログラム（予定）13:30～16:30

13:30～13:35 会長挨拶

13:35～

演題：認知症を「支える」から「共に生きる」へ
～福岡県大牟田市における実践を通して～

講師：猿渡 進平

16:30 閉会挨拶

16:30 終了

※途中休憩あり

**【会 場】 宮崎市民プラザ4階ギャラリー
(宮崎市橘通西1丁目1番2号)**



認知症を「支える」から「共に生きる」へ ～福岡県大牟田市における実践を通して～

本人との「出会い直し」から始まる認知症ケア

認知症基本計画が求められる今、私たちの支援は本当に「本人の声」を起点にできているでしょうか。

現場では、本人の訴えや希望が後回しになり、知らず知らずのうちに「支援する側の安心」や「私たち主体の関わり」になっている場面も少なくありません。

本研修では、認知症のある方と「何ができないか」ではなく「何を大切にして生きているのか」に目を向け、
for（本人のために）から with（本人と一緒に）へという関係性の転換を考えていきます。

大牟田市で長年続けられてきた徘徊模擬訓練の実践から見えてきたのは、本人とできることと一緒に積み重ねていくことの大切さ、そして固定観念を手放すことで広がる支援の可能性でした。

研修では、

- ・個人ワークによる「自分の歴史を知る」時間
 - ・対話を通したグループワーク
 - ・明日からのコミュニケーションにつながる気づきの共有
- という流れを通して、本人と向き合う姿勢そのものを見つめ直す時間を大切にします。

認知症ケアを「技術」から「関係性」へ。

本人との出会い直しが、あなたの明日のケアを変えるきっかけになるはずです。

認知症を「支える」から「共に生きる」へ ～福岡県大牟田市における実践を通して～

猿渡さんは、福岡県大牟田市で長年にわたり、認知症のあるご本人と地域が「共に生きる」仕組みづくりに取り組んできた実践者です。

猿渡さんが大切にしているのは、認知症の人を「守る」「見守る」ことではなく、本人が行きたい場所へ、自分の意思で出かけられることを地域で支えること。
その想いから生まれたのが、徘徊模擬訓練（現在は、ほっと安心ネットワーク模擬訓練）です。

この訓練では、認知症のある本人役が実際に地域へ外出し、住民・関係機関・専門職が連携しながら、「探す」ことを目的にするのではなく、本人の気持ちに寄り添い、安心して地域とつながるプロセスを体験します。

声のかけ方、距離の取り方、関わるタイミング。
その一つひとつが、本人の不安を和らげることも、逆に強めてしまうこともある—そのことを体感的に学べるのが、ほっと安心ネットワーク模擬訓練の特徴です。

「支援する側」の意識が変わると、地域の関係性は大きく変わります。

ぜひ一緒に、認知症のある人が「安心して出かけられる地域」とは何かを学びませんか。